

## 令和4年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・活動の時間を多く設けることで、児童の技術向上につながり、運動の楽しさを味わうことができた。
- ・学習のめあてを明確にすることで、めあて達成のために、児童同士が協力して学習を行うことができた。
- ・技術向上のためのポイントをカードや掲示物で提示することで、動きや技の上達につながることができた。
- ・児童が自ら課題を見出し、解決するための手立てを行うことで、技能の向上や主体的に取り組む態度を養うことができた。

#### (2) 課題

- ・動きのポイントを提示してはいるが、技術の個人差が大きくなってしまいう領域もあるため、場の設定を工夫するなどして、技術向上につながる工夫をする必要がある。
- ・できる喜びをたくさん味わわせることで、楽しんで運動に取り組み、運動の日常化を図りたい。
- ・正しい動きのポイントを児童一人ひとりが理解することができるように、お互いの動きを見とることができるような場の設定をする。
- ・児童同士が見合う視点や、意図を明確にし、充実した活動としていけるような手立てを考える必要がある。
- ・感染症対策に伴う活動の制限のもと、運動量の確保と活動内容の精査が重要になっている。また、運動の機会が減っている児童も多数いるため、体を動かす機会を増やす必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	/	/	/
第5学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第6学年	/	/	/

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・繰り返し練習をしたり、実践的な活動の中で、技能を習得させたりすることが効果	・友達同士で伝え合う姿が見られる。その一方で、自分に見合った課題やめあてを選	・できないことや、初めての運動に直面すると、諦めてしまったり、怖がったりしてし

<p>的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識をもたせないために、段階的に取り組む必要がある。</li> <li>・得意な児童と、不得意な児童の二極化が見られる。</li> </ul>	<p>択することができない児童がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極性のある児童がチームに声掛けをしたり、作戦を考えたりして、メンバーに伝えることができている。</li> </ul>	<p>もう児童が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、仲よく運動することができている。</li> </ul>
--	---	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の能力に応じた場を設定し、段階的に取り組ませることで、技能の習得につながる児童の姿が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の能力向上に加えて、友達の動きにも意識して学習に取り組み、ポイントを伝え合うことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を得意としている児童と、運動が苦手な児童との意欲の差が大きい。</li> </ul>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びの楽しさに触れ、楽しさを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。中学年・高学年へとステップアップしていくために、多種多様な動きをたくさん経験させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの場の設定をし、その中から自分の能力に応じた場の選択をできるようにする。また、相互評価の場を設け、考えたことを伝え合う力を養っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能力に関係なく、どの児童も楽しく活動できる授業づくりを目指していく。児童一人ひとりが達成感を味わうことができるように段階的に取り組ませていく。</li> </ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや、できる喜びに触れ、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。学習カードを有効的に使用することで、技能の伸びを実感できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価の時間を大切にし、課題やポイントを伝え合う活動を通し、個人のめあてに対して、協力して達成する喜びを味わわせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の関心を引くような動きや運動を提示し、授業に取り入れていく。教師が積極的に称賛をしたり、児童同士が動きのよさを伝え合ったりする活動を通して、意欲を高めていく。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健領域では、資料を活用して関心を高めるとともに、知識を正しく理解できるようにする。</li> <li>・運動の適正に応じた、基本的な技能を身に付けること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己やグループの運動の課題を見つけ、解決のための方法を仲間と考えたり、伝え合ったりする活動を通して、伝える能力を伸ばしていく。</li> <li>・自己の課題に対して、仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力して取り組む楽しさや、能力の向上による達成感をたくさん味わわせることにより、すすんで運動に取り組む態度を養っていく。</li> </ul>

<p>ができるように、ICTなどを活用して、正しい動きやポイントについて理解させていく。</p>	<p>と協力して達成することができる、学習活動を取り入れていく。</p>	
--	--------------------------------------	--